

ホット珈琲

2025. 10. 22

いつもよりも早くコンビニに着いてしまった。あることが浮かんた。期待感がわいてきた。もしかしたら、あの二人組のおばあちゃんに会えるかもしれない。店内に入り、見渡した。残念ながらお二人の姿はなかった。今日は、雨だった。

この日は、妻のお弁当はお休みだった。そのため、昼食を調達する都合があった。とはいっても、パンかおにぎりの二択である。この日は、迷わずおにぎりにした。レジに行き、ルーティンのように珈琲をオーダーする。会計を済ませ、流れるようにコーヒーコーナーへと向かう。

すると、見つけた。イトインコーナーにちょこんと座っているお二人がいらっしゃるではないか。何だかうれしくなってくる。自分の珈琲をセットしながら、お二人のことを観察する。ホット珈琲にストローをさして飲んでいる。以前は、歩きながら飲むため、ストローをさしているのかと思っていた。どうやらそうでもないらしい。新たな発見である。

メインの朝食はというと、すでに食べ終わっていたが、その袋の形状から〇〇まんであることは疑う余地がなかった。だが、肉まんなのかあんまんなのか、それともピザまんのかは特定できなかった。

イトインコーナーに、ホット珈琲のカップにストローをさして飲んでいるおばあちゃんが二人いる。こんな光景はなかなかないだろう。それを気にしているのは私ぐらいなものに違いない。チラチラ見ながら観察しているのである。人に見られたら怪しがられる。

この日にわかったことがある。雨でもお二人は、いつものようにコンビニに現れる。きっと雨の中をいつものように南に向かってさっそうと歩いていく。ここで気がついた。そうか。お天気は雨である。傘をさす。歩きながら珈琲を飲むのは難儀である。それでイトインコーナーで飲んでいたのか。そう結論づけた。

このお二人は仲が良い。お二人の関係性はわからない。なぜ、毎日、同じコンビニに立ち寄り、朝食と飲み物を購入し、南へと向かっていくのか。その足どりは明らかに明確な目的地があるのかと思えない。

今度お会いしたら、声をかけてしまいそうである。今までお二人にご登場いただいた園長通信をお渡ししようか。いやいやそんなことをしてはいけない。お見かけしてもぐっと我慢し、観察のレベルに留めておこう。また、お会いできる日が楽しみである。